

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	030200	2998-9399
事業コード	030216	消防車両更新整備事業(消防団車両のみ)		危機管理課
開始年度	昭和 63 年度	終了年度	平成 年度	グループ
				消防グループ

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針				
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 安心・安全	節 危機管理・防災	基本方針	地域防災体制の強化
事業開始の背景	消防の任務である国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するために消防団車両の適正な維持管理を図るものである。 平成25年4月1日より埼玉西部消防局が発足し、消防団事務が所沢市総務部危機管理課に移管されたことから、消防団車両の管理・運用を定めるため、所沢市消防団車両管理要綱を制定し、計画的に消防団車両の更新整備を行うこととした。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	複雑多岐にわたる災害に対処できる消防体制を確立するため、更新整備計画に沿った消防団車両の更新を行うことを目的とする。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	10 台
	消防団車両			平成 27 年度	10 台
事業の具体的な内容及び実施方法					
<具体的な内容> 所沢市消防団車両管理要綱に基づき各分団(全10個分団)の消防団車両の更新を図る。 <実施方法> 1 所沢市消防団車両管理要綱第20条に示す消防ポンプ車両の更新年(16年)に基づき、整備計画を立てる。 2 更新車両の仕様書を作成する。 3 図面審査、中間検査、完成検査を実施し仕様に基づいた車両を期限までに整備する。					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		0	0	0
決算(見込み含む)		0	0	
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)
正規職員人件費		0.00 人	0.16 人	1,386
事業費合計		0	1,386	
財源内訳	一般財源	0	1,386	0
	国・県支出金	0	0	0
	その他()	0	0	0

「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
				更新整備実施台数	各年度に更新整備した台数	台	0

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標				
				成果指標	消防車両適正台数の確保	適正に維持された台数/必要台数	台	目標値	10	10	10
				実績	10	10	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る				
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください				

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	所沢市消防団車両管理要綱及び消防団車両管理事務処理要領に基づき、安全運転の励行を呼びかけるとともに、資機材の盗難防止のため詰所の施錠を徹底するよう注意喚起した。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向後性の	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	所沢市消防団車両管理要綱に基づく車両更新年度に当たる年度に車両更新整備を行うため。
			次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性	
	平成28年度は車両更新年度に当たっていないが、平成29年度の第1分団車両の更新整備に備えて、地域の特性に合わせた車両機材を考えると、車両積載機材についても震災時に活用できる資機材の導入について調査・研究を進めている。			平成29年度は消防団事務が危機管理課に移管してから初回の車両更新であり、その後も更新が続くことから、仕様書作成から納車に至るまでの一貫した事務手順を整理する。	
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	危機管理担当 須田 春男		

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動		規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無